

# 分布図情報



## 「江戸名所絵」

刊年 1803 (享和3) 年頃 / 作者 鋤形紹真 (筆)

版元 野代柳湖 (刻) / 寸法 40×57cm / 木版手彩

大川（隅田川）東岸の亀戸天神の上空から西方の富士山の方向に向かって、江戸の町が一望のもとに描かれています。江戸が山の手の台地と下町の低い埋立地からなる坂と緑の多い町だったことがよくわかります。富士山が高く大きく描かれていますが、低地から台地を臨む眺望が考慮されていたため、町のあちこちから身近に眺めることができました。

大川に浮かぶ船、道や橋の上を歩く人々、芝居小屋など、数々の河川や濠に面した庶民の町（下町）の様子も詳しく描かれ、当時の活気が伝わってきます。

(岐阜県図書館蔵)



# 『外邦図で見る戦前のアジアと世界Ⅱ -満州-』

【5月28日(土)～7月28日(木)】

## ■外邦図について

「外邦図（がいほうず）」は戦前の陸軍参謀本部陸地測量部（現国土地理院の前身）が、戦略上作製した日本以外（外邦）の地図のことです。軍事目的で作製されたものが多いため、一般の目にふれることはほとんどありませんでした。

しかし、最近は地図の入手が困難な地域や当時の地形環境等を研究するうえで、価値の高い地図として注目を集めています。

## ■外邦図の収集について

当館では平成9年度から17年度にかけて、5つの大学（東北大学、京都大学、東京大学、広島大学、お茶の水女子大学）から約14,000枚の外邦図を収集しました。これらの収集した外邦図の目録やインデックスマップは世界分布図センターのホームページ上で閲覧できます。

## ■利・活用について

平成16年度より毎年、外邦図の歴史資料としての価値をより多くの方々に楽しんでいただけるように、所蔵する外邦図を地域別に順次、展示・紹介しています。

第2回となる今年度は、日本とのかかわりが深かった旧満州の外邦図35点を関連資料（写真や書籍等）とともに展示・紹介しました。



展示の様子

## ■展示資料の紹介



「1万分1関東州地形図 假製版『大連』」  
関東庁、陸地測量部／1922(大正11)年測図

海の玄関口に位置する大連は、満州でも日本人の多かった都市でした。ロシア時代からの自由港で、関東州成立後も商港として活発な貿易が行われました。

二百五十万分一「東部中部」ソ連領地図  
参謀本部、陸地測量部／一九四二(昭和17)年製版



1938(昭和13)年調製250万分1露版図を複製したもので、1942(昭和17)年に東亜研究所による翻訳と、満州国内省界の修正など地図の調整がなされています。

満州国の境界が色表示で強調され、その北部国境沿いのソ連領の記載がきわめて詳細です。

## ■ハザードマップについて

ハザードマップは、水害や地震・火山災害などの自然災害時に被害の恐れがある範囲や避難地域・避難経路や避難場所などを表示した地図（災害・危険箇所等の分布図）です。近年、災害対策の一環として多くの地方公共団体で作製されています。とりわけ、東海あるいは東南海地震発生の危険性が高まり、昨年度は県内外で水害や中越地震による甚大な被害が生じるなか、その有効性や活用に一層注目が集まっています。

## ■展示内容と作品について



会場の様子

9月1日の「防災の日」に合わせ、県内及び日本の代表的な地域のハザードマップを展示し、地図の有効性や地図から見る災害対策等を紹介しました。また本展は、当館が平成7年7月7日に移転新設された10周年記念展示としても開催されました。なお、開催にあたっては、全国の市町村から多くの資料を提供いただき、花園大学名誉教授伊藤安男先生及び岐阜県河川課・防災政策課のご協力をいただきました。

展示では、県内外の地方公共団体が作製した洪水・土砂災害・地震・火山災害のハ

ザードマップのほか、岐阜県の取り組みの現状やハザードマップの活用事例なども紹介しました。また、江戸時代や明治時代の水害等を記録した古地図や、ハザードマップ作製の基礎資料となる国土地理院等が作製した各種の主題図等（土地分類図、土地条件図、活断層図等）も展示し、地形と災害との関係についての紹介もしました。

## ■展示資料の紹介

「木曾川水系長良川  
（岐阜県管理区間）  
浸水想定区域図」

2002（平成14）年岐阜県  
岐阜・美濃建設事務所作製  
岐阜県河川課提供

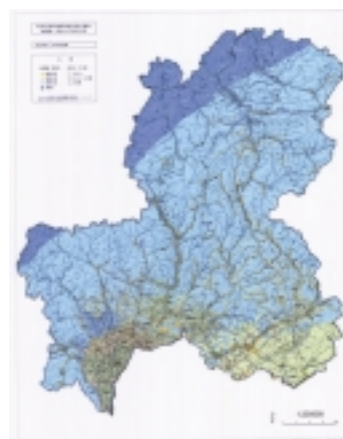
浸水想定区域図は、2001（平成13）年に改正された水防法に基づき、河川管理者（国や都道府県）が、洪水氾濫時に想定される浸水状況（範囲と深さ）を示したものです。市町村は本図に基づいてハザードマップの作製にあたります。



「岐阜県東海地震  
等被害想定調査  
地震動・液状化  
予測分布図」

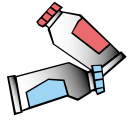
2003（平成15）年  
7月作製／岐阜県防  
災政策課

本図は東海地震と東南海地震の複合型東海地震を想定して県が作製したハザードマップです。予測される震度と、それによってもたらされる地盤の液状化の程度を大まかに示す指標（PL値）が示されています。





# 第11回 児童生徒地図作品展



作品づくりを通して、地図に興味や関心を持ち、生活の中で使いこなす力を高めることを願って始まった児童生徒地図作品展は、今年度で11回目を迎えました。今回は、県内の小・中・高等学校から294点の応募があり、力作揃いの作品の中から15点の入賞作品、45点の入選作品が決定しました。

## 子どもたちの地図作品の魅力

### (1) 自分の生活の中から見つけ出されたテーマ

学校や各家庭生活の中で、疑問に思ったことや、発見したこと、もっと考えてみたいこと等が、テーマとなっています。子どもたち一人一人の、「～についてもっと詳しく調べたい!」「発見したことを地図に表現したい!」「みんなに知らせたい!」という気持ちが、素直に作品に表れています。



岐阜県知事賞

「眠らない街～延びる営業時間～」

各務原市立蘇原第一小学校 6年 長尾 綾子

### (2) 創造的な地図づくり

子どもたちが、つくり出した地図は、どれも世界でたった一つのかげがえのない地図です。またその子だからこそ、つくり上げることができた地図です。

地図への取り組み方は、子どもたち一人一人、様々です。資料の収集の仕方や地図表現の工夫、地図づくりを通して得た気付きなどをまとめた地図は、見る人の心をひきつけます。

パソコンやカメラやコピー機などを子どもたちが楽に操作できる時代です。しかし、収集した資料を自分の手で絵や文に表現したり、調査や観察したことを自分なりに分析したりすることは、創造的な地図づくりには不可欠です。



岐阜県教育長賞

「小熊町 通学路の花の地図」

羽島市立小熊小学校 3年 神田 萌絵



「調べてびっくり中濃用水」

岐阜市立三輪南小学校 4年 小西はなの



「自然災害に強い国づくり」

岐阜大学教育学部附属中学校 1年 内海 大成



「どうかな? どうかな? 山口市 川調査」  
山口市立いわ桜小学校 5年 大西 由紀



「杜の中の駅 (岐阜駅北口駅前広場整備計画)」  
岐阜市立本荘小学校 5年 近藤 幹大

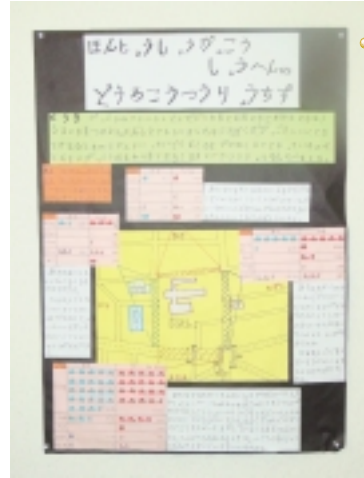


「ふるさと岐南～川の歴史～」  
岐南町立西小学校 6年 小池 毅

**(3) 作品づくりによって得られるもの**

地図づくりを行うためには、自分のテーマとじっくりと向き合わなければなりません。すると、今までは、気付かなかった地域の様々な様子などがわかってきます。例えば、「自分の生活する地域には、自分たちの身の安全を守ったり、安定した暮らしを支えたりするために努力している人々がいる。」といったことを感じ

たりします。地図づくりにじっくりと取り組むことによって、子どもたちは、自分の社会を身近に感じ、社会生活をより具体的にとらえることができるようになります。そして、社会を見る目を養い、その社会の一員としての自覚を深めていくことができます。



「ほんじょうしゅうがっこうのまち」  
岐阜市立本荘小学校 1年 木村 研斗



- 「わたしのたからじまたんけん」  
岐阜市立島小学校 2年 春日井彩香
- 「たんけん正木川」  
岐阜市立鷺山小学校 3年 桑原 里紗
- 「県名当てボード」  
瑞浪市立瑞浪小学校 5年 橋本 隼介



- 「はっけん、ふしぎ、まちのあんぜんちず」  
岐阜市立芥見東小学校 1年 服部 彩音
- 「みたけ町ひとふでがき」  
御嵩町立御嵩小学校 2年 佐藤 甲斐
- 「長森地図集」  
岐阜市長森南中学校 3年 柳原 未奈・山科 香織
- 「市町村合併についての考察」  
岐阜県立加納高等学校 1年 森 祐弥

60点の作品は、10月29日から12月28日まで、世界分布図センターで展示しました。多くの方々が鑑賞され、それぞれの作品にうなずいてみえました。きっと来年度も、見る人の心に作者の思いが伝わるような、素晴らしい地図が多数応募されることでしょう。当センターは、地図教室や資料提供などを通して、地図づくりの応援をしていきたいと思っています。

ただ今、入賞・入選作品60点の写真を収めた記録集を配布しています。ご希望の方は、世界分布図センターカウンターまでお越しください。また、ホームページでは、入賞した15点の作品の写真を紹介しています。どうぞご覧ください。

<http://www.library.pref.gifu.jp/map/index.html>

地図講演会「アジア太平洋地域の近代化  
と日本軍の地図作製」

大阪大学大学院文学科教授 小林 茂先生

地図講演会

6月25日（土）に、旧日本軍によって第二次世界大戦終結までに作製されたアジア太平洋地域の地図「外邦図」研究の第一人者の小林茂大阪大学大学院教授が「アジア太平洋地域の近代化と日本軍の地図作製—数奇な運命をたどった外邦図の調査から—」と題して講演されました。

ほとんどの外邦図は、旧日本軍が測量、または外国製の地図を一部改変したりして作製した軍事秘密の地図です。

小林教授によると、外邦図は日清戦争ごろから需要が高まり朝鮮半島・台湾・中国などの地域が作製されました。この外邦図は秘密図であったため終戦直後に焼却されましたが、焼却を免れて数奇な運命をたどった一部が、国立国会図書館、大学などの研究機関、岐阜県図書館世界分布図センターなどに保存されています。

今後、外邦図は中国、韓国などの各国研究者との共同研究、歴史的資料としての活用、植生の変化・地形の変化・海岸の変化など地球観測データとしての活用もできると研究の重要性を説明されました。

また、岐阜県図書館には、およそ14,000点が所蔵されていて、閲覧も容易にできるのは素晴らしいことと話されました。



小林茂先生（地図講演会）

「楽しかったよ！地図づくり」

— わくわく地図教室 —

7月21日、22日に、地図研究家の渡辺一夫先生を講師にお招きし、「わくわく地図教室」を開催しました。

21日の低学年の部では、方角の学習をした後、オリジナル地図記号を作ったり、簡単な地図をかいたりする中で、楽しみながら地図づくりの基本を学んでいきました。

また、22日の高学年・中学生の部では、伊能忠敬のように、歩測で地図をつくる活動を行いました。方位磁石を手にし、自分の進む方向を確かめながら図書館内を歩き、地図化していきました。



「ぼくは、自分勉強で地図を作るけど、いろいろコツを聞けたし、質問したりしてためになったし、PCで地図が作れてすごく楽しかった。来年もぜひ、参加したいです。」「今日覚えたことをもとに金華山の地図をつくりたい。」「ちょっと難しかったこともあったけど、すごくでかい地図が描けて、友達に案内をする時にためになったと思うので、今度は、他の道からの道のりとかを描きたいです。東西南北も分かったので、また、使ってみたいと思います。来年も参加して、また、楽しい地図教室ができるととってもうれしいです。」などの感想も寄せられました。

小学校1年生から中学1年生という、幅広い年齢の子どもたちが参加しましたが、どの子も熱心に活動し、新しいことを知る楽しさ、できることが増える喜びを味わい、地図が大好きになったようです。

# 平成17年度 事業報告

世界分布図センター・岐阜県情報工房では、分布図・地図に関して広く県民の皆さんにご理解をいただきますよう、次のように年度の事業を実施しました。

## (1) 収蔵資料の展示

世界分布図センターが収集した分布図・地図を展示し、多種多様な種類の地図類があることを紹介するとともに、地図類の持つ様々な情報を提供しました。

**(館内展示)** 岐阜県図書館2階 世界分布図センター 展示コーナー

第1回	「地図で見る日本の町並みー歴史が生きる景観ー」	4月1日～5月26日
第2回	「『地図の日』記念展示ー伊能大図フロア展ー」	4月16日～5月10日
第3回	「外邦図で見る戦前のアジアと世界Ⅱー満州ー」	5月28日～7月28日
第4回	「ハザードマップで見る岐阜・日本」	8月27日～10月27日
第5回	「第11回児童生徒地図作品展」	10月29日～12月28日
第6回	「古地図の世界ー江戸から東京へー」	平成18年1月28日～3月30日

## (館外展示)

- ・瑞浪市民図書館「地図で見る地域の姿ー古地図に描かれた郷土ー」 6月8日～7月3日
- ・養老町民会館 「地図でたどる美濃路・西濃」 7月8日～7月24日
- ・可児市立図書館「古地図でたどる郷土の歴史」 8月11日～8月23日
- ・郡上市ふれあい創造館(郡上市しろとり図書館)「古地図の中の美濃と郡上」 9月1日～9月30日
- ・安八町生涯学習センター「ハートピア安八」  
「古地図の世界ー江戸から明治にかけての日本人の日本観ー」 10月7日～11月18日
- ・高山市図書館「煥章館」 「古地図の中の美濃と飛騨」 10月1日～10月20日
- ・郡上市総合文化センター(郡上市はちまん図書館)「伊能図の世界」 11月1日～11月13日
- ・美濃加茂市中央図書館「鳥瞰図で見る日本・郷土」 11月1日～11月19日
- ・安八町生涯学習センター「ハートピア安八」 「地図で見る地域の変遷ー安八ー」  
12月20日～平成18年2月5日
- ・岐阜県博物館「古地図の世界ー城下町絵図ー」 平成18年2月18日～3月21日

**(2) 地図講演会** 6月25日(土) (前頁掲載)

**(3) 夏休みわくわく地図教室** 7月21日(木)、22日(金) (前頁掲載)

**(4) 第11回児童生徒地図作品展** (4, 5ページ掲載)

募集期間：8月30日(火)～9月11日(日)

審査：1次 9月26日(月) 2次 10月11日(火) 表彰式 11月20日(日)

**(5) 地図講座** 岐阜県図書館2階 研修室

第1回	「地図のさまざま」	花園大学名誉教授	伊藤安男先生	8月27日(土)
第2回	「古地図から災害を見る」	花園大学名誉教授	伊藤安男先生	9月10日(土)
第3回	「古地図から見た旅」	岐阜県文化財保護協会会長	太田三郎先生	9月17日(土)

## (6) 高校生のためのリモートセンシング教室

日時：平成18年1月22日(日) 13:00～16:00 場所：岐阜県図書館2階 研修室 参加人数：10人

内容：リモートセンシングについてのわかりやすい講義とLANDSAT等の地球観測衛星データを使用した衛星画像の作製を体験しました。

〔リモートセンシングとは、「物を触らずに調べる」技術のことです。人工衛星や飛行機などに専用の測定器(センサー)を載せ、高いところから測ることで地球という大きな“物”を触らずに調べることができます。〕

## 「廃川地の利用」(長良川扇状地の場合)

日本の多くの河川は沖積平野を形成しています。上流から運ばれてきた土砂は、氾濫を繰り返し流路を変えながら流れる河川によって面的な堆積を続け沖積平野を形成しますが、扇状地もその一つです。今回取り上げた長良川扇状地は、岐阜市の中川原付近を扇頂とする半径約6kmの扇状地で、岐阜市の市街地の多くはこの扇状地の上に広がっています。

第1図は、1998(平成10)年発行の1:25,000地形図「岐阜北部」です。長良川右岸の長良橋下流付近から、岐阜メモリアルセンター(野球場や陸上競技場等を含む)や文化ホール(県民未来会館)、あるいは中学校や高等学校等の学校が線状に並んでいることが読み取れます。なぜこのような広い面積が必要な公的施設建設が可能であったのでしょうか。

第2図は、1891(明治24)年発行の1:20,000地形図「岐阜」です。長良川は、長良橋付近から3本に分かれていた様子を読み取る人可以します。これらは、北から古々川、古川、井川(現長良川)と呼ばれていました。第2図からは、長良川の流水は井川のみで、古々川、古川は河原になっていますが、ひとたび洪水が発生すれば、古々川、古川にも水が溢れて流れる状況(遊水地域)でした。

明治から大正時代にかけて、長良川には長良橋や

忠節橋等が架橋され、また長良軽便鉄道が1915(大正4)年に岐阜市内電車と接続されるなどして、岐阜市が長良川右岸へ発展することとなりました。そして、1921(大正10)年にはじまる内務省木曾川上流改修工事の一環として長良川改修事業が行われました。具体的には、古々川・古川を締切り、井川を残す工事で、1937(昭和12)年に着工され、1939年に竣工しました。この工事により、古々川・古川の流れていた地域は「廃川地(廃川敷地)」となり、約160haの土地が新たに生まれました。これほどまとまった未利用の土地が出現することは珍しいことです。第1図の長良川右岸、長良橋やや下流にある□の記号は締切りの記念碑を示しています。

先述した公的施設の建設は、この土地利用の一環として進められました。なお、他に農地や工場用地、住宅地等にも利用されました。

このように、新旧の地形図あるいは各種の地図(分布図等を含む)を比較することにより、1枚の地図では読み取れない情報を読みとることができます。世界分布図センターは、過去に発行された地形図は県内に限っては全て所蔵していますので、是非ご利用ください。

第1図



1998(平成10)年発行  
1:25,000地形図「岐阜北部」75%に縮小

第2図



1891(明治24)年発行「岐阜」  
1:20,000地形図 32%に縮小

### 参考文献

- ・伊藤安男編著 『地図で読む岐阜』 古今書院 1999
- ・高橋幸仁・松浦守仁 「糸貫川廃川地について」 岐阜地理学会「岐阜地理」vol.29 1988

「世界分布図センター」には、14万点を超える分布図・地図、地図関係図書があります。

また、「情報工房」ではコンピュータ及びGISソフトを使ってオリジナル地図や分布図を作成し、印刷することができます。

調査・研究や学習、国内外の旅行の準備等お気軽にご利用ください。

### 岐阜県図書館

#### 世界分布図センター・情報工房

〒500-8368 岐阜市宇佐4-2-1

TEL (058) 275-5111 (内線286)

FAX (058) 275-5115

URL <http://www.library.pref.gifu.jp/map/>

E-mail [mapstaff@library.pref.gifu.jp](mailto:mapstaff@library.pref.gifu.jp)